公益財団法人佐藤陽国際奨学財団
2027 年派遣留学奨学生募集要項

公益財団法人佐藤陽国際奨学財団は、次のような学生を支援します。

- 学業に優れ、学業に専念する者
- 日本文化をはじめ、異文化理解など国際交流に努める者
- 地域交流、ボランティア活動など社会貢献に努める者
- 学んだことを社会に役立てる意欲のある者

書類受付締切：　**2026 年 12 月 18 日（金）正午**必着

Ⅰ. 応募資格

当財団の協定大学（HOME 大学）に在籍し対象国に留学する学生であって，下記の全ての条件を満たし、協定大学が推薦した日本国籍を有する学生を対象とする。

留学対象国

東南アジア諸国（インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス、東ティモール）及び南西アジア諸国（インド、スリランカ、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、ブータン、モルディブ） 18ヶ国

① 国際理解と親善に関心を持っていること
② 他の奨学金又はこれに類する金品を受給していないこと（貸与奨学金及び学費免除は可）※
③ 学内の特別プログラム等で、使途自由な金銭を受給していないこと※
④ 協定大学に在籍する学生であって、協定プログラムで定められた対象大学（HOST 大学）での履修期間が 6ヶ月以上かつ 2 セメスター以上であること
⑤ 2027 年 9 月末までに留学を開始すること(開始時期は相談に応じます)
⑥ 在籍大学における直近までの GPA が 3.25（4.00 満点）以上であること
（GPA の算出方法は募集要項 4 ページをご覧ください。）
⑦ 留学先での修学に支障のない英語力を有するとともに、留学先国において日常会話に支障のない程度の基礎的な言語能力を有すること
⑧ 留学先国で就業又は居住している親がいないこと

※ 応募時に奨学金や学内の特別プログラムで金銭等を受給している場合であっても、当財団の奨学金支給開始時に、受給が終了している場合は応募できます。ご相談ください。

※ 上記条件については、各大学で確認をお願いいたします。

Ⅱ. 採択者の義務

当財団の奨学生に採択された場合には、奨学金受給期間中および帰国後において、次の事項を履行するものとします。

① 奨学生として採用された後、異文化交流を目的とする当財団の交流会に必ず出席すること
② 留学修了後に開催される「留学報告会」に必ず出席し、留学の成果を報告すること
③ 生活報告書を月 1 回提出すること
④ 帰国後、SATOM として財団の交流活動やネットワーク構築等に積極的に協力できること
（SATOM とは当財団の卒業生の総称です。）

Ⅲ. 奨学金

奨学金　　月額 150,000 円
　　ただし、シンガポールに留学する場合は月額 200,000 円

一ヶ月に満たない月の奨学金は 10 日単位の日割り計算とする。

Ⅳ. 支援金

1. 渡航費等　250,000 円 （往復航空券、空港施設使用料等）
2. 交換留学一時金　200,000 円　（予防接種費用等）
3. 保険料（大学指定の海外旅行保険及び海外安全危機管理サービス費）
   150,000 円を限度とする実費　※日本出発時に支払った額のみ支給
   ただし、ダブルディグリープログラムによる留学の場合は、2 年間分として 300,000 円を限度とする実費を支給する。
4. 学会出席補助金　（院生対象）：年間 10 万円を上限
5. その他　ダブルディグリー留学で学位を取得した場合、帰国後に学位取得登録料を支給する。

Ⅴ. 支給期間・支給方法

1. 奨学金の支給対象期間：
   財団が認めた留学期間とし、留学先に入国した日から支給を開始し、留学先を出国した日に支給を停止する。ただし、留学期間を超えて留学先に滞在した場合は、留学期間終了日（大学の履修終了日）をもって支給を停止します。
2. 支給方法：　2 ヶ月毎、2 ヶ月分を本人名義の日本国内金融機関口座に日本円で振込

Ⅵ. 募集人員

10 名程度

Ⅶ. 推薦方法・書類締切

大学の留学担当部署を窓口として、推薦する学生の応募書類を下記期日までに当財団宛にメールにて送付してください。

書類締切：　2026 年 12 月 18 日（金） 正午必着

書類送付先：　sisf@sato-global.com

- 提出書類は PDF 化した後、文字が明瞭に判読できることを確認の上、ご送付願います。
- 解像度：300dpi、申請書（別紙①-1/2）はカラーPDF、その他の書類は白黒 PDF にてご提出ください。

Ⅷ. 提出物　※は当財団所定用紙使用

① 申請書 （2 枚）　※別紙① 自筆
② 指導教員推薦書（厳封）　※別紙②
③ エッセイ （1 枚）　※別紙③ 自筆
④ 留学計画書　※別紙④ 自筆
⑤ 経費計画書　※別紙⑤ 自筆

⑥　研究計画書 （2027 年 4 月時に大学院在籍学生のみ提出） A4 サイズ 1 枚、PC 入力可

⑦　在学証明書

⑧　学業成績証明書

（学部生は、高校の成績から直近まで。大学院生は、学部から直近までの学業成績証明書）

⑨　大学間交流協定書の写し

⑩　応募者の留学スケジュール（履修の開始及び終了予定時期、帰国時の HOME 大学の学年及び卒業予定時期等）　A4 サイズ 1 枚、PC 入力可

⑪　アカデミックカレンダー （大学の学事暦・年間スケジュール）

Ⅸ. 選考及び結果発表

書面選考及び面接選考

- 書面選考の結果は、2027 年 2 月 9 日（火）までに留学担当部署宛てに通知します。
- 面接選考は 2027 年 2 月 20 日（土）又は 21 日（日）に東京にて実施予定です。
- 面接選考での自己 PR は英語で行います。
- 面接選考の結果は、2027 年 2 月 25 日（木）までに留学担当部署宛てに通知します。
- 合格した学生は、東京でおこなわれる「認証式：2027 年 4 月 10 日（土）」に必ず出席してください（交通費支給）。疫病や自然災害等で認証式が開催できない場合、変更することがあります。

Ⅹ. 留意事項

1. 派遣留学奨学生が以下のいずれかに該当する場合は、奨学金の支給を停止することがあります。（「奨学生規則」を当財団ホームページ（https://www.sisf.or.jp）で事前に確認してください。）

   ①　留学期間中に無断で帰国した場合

   ※　ただし、緊急の場合は財団が事情を勘案し認めることがあります

   ②　交流会を無断で欠席した場合

   ③　「生活報告書」その他提出物を期限内に提出しなかった場合

   ④　指導教員から修学または研究の継続が不適当とされた場合

   ⑤　学業成績が不良の場合

   ⑥　休学・転学の場合

   ⑦　法律や社会秩序に反する行為を行った場合

   ⑧　重大な規則違反、虚偽報告などの財団の社会的信用を著しく損なう行為をした場合

   ⑨　留学中の出国日数（累計 45 日間）を超えた場合

   ⑩　**［Ⅰ. 応募資格］**に記載の留学対象国以外に出国した場合

2. 派遣留学する場合は、留学前に留学先国の言語を学んでください。
3. 合格時点で派遣先大学の承認を得られていない場合は仮合格として、その後、承認を得られなかった場合には合格を取り消します。
4. 「HOST 大学の入学許可証（写し）」を入手次第、HOME 大学を通して提出してください。
5. 「自筆」と指示のある申請書は、必ず本人が記入してください。

≪選考用 GPA の算出方法≫

在籍大学の GPA を選考用 GPA に換算します。算出方法は下記の通りです。算出に誤りがあると「書類不備」の扱いとなりますので、必ず各大学にて確認をお願いします。

1) 応募者が学部学生の場合は、在籍課程の直近までの学業成績を、以下の〈換算表〉を使い、在籍大学の成績評価方法のパターンにより「選考用評価ポイント」に換算してください。
(例：大学の評価法がパターン2で成績評語が A の場合は、選考用評価ポイントは G3)
2) 成績の段階評価がなされていない「認定」等の科目や、卒業に必要な単位には算入されない科目(教職科目や自由科目など)は計算(分母および分子)から除外してください。
3) 下記の〈選考用 GPA 計算式〉により選考用 GPA 値を算出してください(小数点第3位を四捨五入)。
4) 大学によって GPA の算出方法が異なるので、まず在籍大学の評価方法を確認し、必ず自分で成績表を確認しながら、G4~G0 の各単位数を数え、上記 1)～3) の方法により選考用 GPA を算出してください(大学の GPA とは数値が一致しないことがあります)。
5) 修士課程、博士課程在籍の応募者は学部卒業時の成績を用いて上記 1)~3)の方法により算出してください。

〈換算表〉

選考用評価ポイント	G4	G3	G2	G1	G0
5段階評価(パターン1)	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点以下
5段階評価(パターン2)	S	A	B	C	F
5段階評価(パターン3)	A＋	A	B	C	F
5段階評価(パターン4)	A	B	C	D	F
5段階評価(パターン5)	秀	優	良	可	不可
5段階評価(パターン6)	優上	優	良	可	不可

〈選考用 GPA 計算式〉

$$\frac{(「G4\text{の単位数}」\times 4 + 「G3\text{の単位数}」\times 3 + 「G2\text{の単位数}」\times 2 + 「G1\text{の単位数}」\times 1 + 「G0\text{の単位数}」\times 0)}{(「G4\text{の単位数}」 + 「G3\text{の単位数}」 + 「G2\text{の単位数}」 + 「G1\text{の単位数}」 + 「G0\text{の単位数}」)}$$

≪問い合わせ先≫

公益財団法人佐藤陽国際奨学財団　派遣留学係
〒108-0023　東京都港区芝浦3-1-1 田町ステーションタワーN 26F
TEL:　03-6435-3388
FAX:　03-6435-3165
E-mail: sisf@sato-global.com

財団使用欄
受付日：
番　号：

公益財団法人佐藤陽国際奨学財団

2027 年派遣留学奨学生申請書

※2027 年 4 月 1 日現在

写真添付（カラー）

（3ヶ月以内に撮影したものを貼付のこと）

4.5×3.5cm、上半身、正面、脱帽、裏面に氏名を記入のこと

氏名	氏名		パスポート記載の性別
	パスポート記載の英文		年齢※　歳
生年月日（西暦）		年　月　日	
E-mail Address		@	
携帯電話番号（ない場合は固定電話番号）		（　　）　－	国　籍　日　本
現住所		〒	最寄り駅　線　駅
HOME（在籍）大学		大学名（学部・学科・研究科・専攻も明記） □学部　□修士　□博士　※学年　年	指導教員名：
		入学年月：　年　月	卒業予定年月：　年　月
		GPA　／4.00 満点	算出使用 5 段階評価パターン（○をつけてください） 1・2・3・4・5・6 その他（　）
	留学担当部署	所在地	電話番号 （　）　－
		担当部署名	FAX 番号 （　）　－
		担当者名	E-mail
HOST（留学先）大学		大学名（学部・学科・研究科・専攻も明記） □学部　□修士　□博士　学年　年	留学先国
		HOST 大学在籍予定期間 2027 年　月～　年　月	同国滞在予定期間 2027 年　月～　年　日
		留学目的 □交換留学（単位互換可）　□交換留学（単位互換不可）　□ダブルディグリープログラム □その他（　）	

申込日　2027 年　月　日

学歴	期　間	学校名	課程	専攻科目	経歴
	年　月から 年　月まで	高校			卒業・中退
	年　月から 年　月まで		学・修 博・他		編入・入学 卒業・中退
	年　月から 年　月まで		学・修 博・他		編入・入学 卒業・中退

語学力（必須記入項目）			点数	受験年月
	英語力	TOEIC	点／990 点	年　月
		TOEFL	点／　点	年　月
		IELTS	／ 9.0	年　月
		英検	級	年　月
		その他	／	年　月
		自己評価（A・B・C）	読む（　）　書く（　）　話す（　）　聞く（　）　議論する（　）　発表する（　）	
	留学先言語	修学言語（講義言語）： 語	その能力及び学習状況（例：週○時間マンツーマン授業、○年より修学開始、上達の程度：日常会話など）	
		公用語： 語	その能力及び学習状況	
	その他	その他の言語力（例：実用タイ語検定 3 級）		

留学先大学受入許可状況				
	□申請済　□未申請（　月申請予定）		海外経験（留学・居住）※1	
	達成基準	□達成済（合格連絡：□有　□未）　□未達成 （例：TOEIC800 点以上）		
	達成計画	「未達成」の人は、合格するための計画を記入 （例：○月 TOEIC 受験）	資格・受賞歴※2	

国際交流・社会貢献活動	
	具体的に記入（必須）※3

家族構成	氏名	関係	現住所（国・都市名）

緊急連絡先		
	氏名：　申請者との関係（　）	日中連絡が取れる電話番号 （　）　—
	住所：〒	

奨学金等		名称	受給金額(月額)	受給期間
	受給中の奨学金等 有（給付・貸与）・無			
		名称	発表日	
	併願中の奨学金等 有（給付・貸与）・無			

※1 海外経験で留学は、日本人学校か現地校かを記載。「目的」「期間」「授業時間数」など具体的に書いてください。その他海外経験については、ボランティアのプログラムなのか家族帯同なのか詳しく教えてください。

※2 受賞歴は、受賞時期や主催等、詳細まで記入してください。

※3 国際交流・社会貢献活動は、「いつ」「どこで」「何を」「誰と」「どのくらい」行なったのか、そして「成果」がわかる方は成果まで記入してください。人のために無給で行った経験も含みます。

推薦書

記入者	大学名	所属
	職名	連絡先（TEL）
	氏名（自署）	記入日　　年　　月　　日

学生氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

1. この学生を何年指導していますか。　　（　　年）

この学生との関わりを具体的に教えてください。

（(例)学部で社会学を指導している学生、研究室で 5 月から指導している学生等）

（　　）

2. この学生の英語力及び留学先国の言語の能力について教えてください。

（　　）

3. 推薦文

※厳封にて提出願います。
※推薦書は選考において重視します。
※日本語以外での記入の場合は、和訳を添付してください。

エッセイ

下記の三つのテーマに即して、日本語(自筆)で書いてください。A4 用紙 1 枚にまとめること

① 留学の目的
② 留学先国、その大学を選んだ理由とそのために準備していること
③ 将来の夢(留学を将来にどう生かすか)

氏 名:　　記入日:20　　年　　月　　日

※鉛筆不可、黒ボールペン使用のこと

別紙④（自筆）

留学計画書

記入日：20　　年　　月　　日

氏　名：

□留学前準備から現地での具体的な学習計画（現地語の習得含む）

□ 留学終了後の進路

※鉛筆不可、黒ボールペン使用のこと

公益財団法人佐藤陽国際奨学財団

別紙⑤（自筆）

経費計画書

記入日：　20　　年　　月　　日

氏　　名：

留学先国：

留学期間中に予定される支出を日本円に換算して記入してください。（例）タイの場合、「1 バーツ＝3.91 円」

現地通貨（単位）	換算レート（　　年　　月　　日時点）

費用項目		金額（現地通貨）	金額(円換算)	内訳・算出根拠等
生活費	家賃　（対象予定に〇をつけてください） ・寮（　　人部屋） ・ホームスティ　・シェアハウス ・アパートメント　・その他（　　）			円／月×　　ヶ月分
	食費			円／月×　　ヶ月分
	水道光熱費			円／月×　　ヶ月分
	通信費			円／月×　　ヶ月分
	通学費			
学習・研究費	学費（留学先大学への支払い）			
	書籍代			
その他	保険料			
	予防接種費用			
	往復渡航費用			
	ビザ取得費			
合計				

（記入時の注意）

- 学費の項目は留学先（HOST）大学に支払うものがあれば記入してください。
- 在籍（HOME）大学への学費は記入不要です。

公益財団法人佐藤陽国際奨学財団